

地域分科会 IV南・西アジア・北アフリカ話題提供

「トルコでの地震の文化人類学的調査」

京都大学東南アジア研究所 木村周平

「トルコでの地震の文化人類学的調査」と題し、以下の3つの内容について紹介した。

1) ひとつめは、自然災害についての文化人類学的な研究のあり方と国内の研究状況である。とりわけインド洋地震津波災害を契機に、国内でも自然災害の社会的な影響や、災害の被害の社会的要因に関心をもつ人文・社会系の研究者が増えつつある状況について説明した。

2) つぎに、話題提供者のトルコでの調査の背景と課題、および調査上の問題と成果の概要について述べた。トルコでは1999年の地震直後、地震への関心は高まったが、現在は急速に低下しつつある。こうした状況について、知識の逆機能など、いくつかのポイントを挙げながら説明した。また調査上の問題としては、組織間の対立に巻き込まれないようにすることなどについて述べた。

3) 最後に、災害という問題をにかかわる、研究上および実践（復興支援など）上の諸分野の研究者の提携の可能性について話題提供者の考えを述べた。とりわけ途上国の災害においては、防災や復興に関して地域研究者が果たしうる役割は大きく、分野横断的に取り組む必要がある、ということを指摘した。